



On the Ground

—平成28年度事業報告書—



NPO法人 トチギ環境未来基地

代表あいさつ



塚本 竜也
Tatsuya Tsukamoto

今年度も皆様のご支援、ご協力のおかげにより大きな事故もなく有意義な活動を多くのボランティアの皆様と共に行うことができました。本当にありがとうございました。活動の現場も年々増え、作業面積も広がり、多くの人の力を必要としています。個人、企業、グループで活動に参加いただき、ともに汗をながした皆さんの力で目標の整備を達成することができました。

平成28年度に力をいれたことの一つは、里山×テーマプロジェクトのさらなる充実でした。子どもの貧困問題に対して里山ができることについて考え、いくつかの活動を形にすることができました。具体的にはこども食堂と連携した子どもの自然体験活動の実施など、ボランティアの皆さんと共に整備した里山もその活動フィールドの一つとして活用をしています。

また、年度の終わりにはオーライ！ニッポンのグランプリを受賞することができました。若者のチームによる長期間滞在型の環境保全プログラムが評価されたことは、Conservation Corpsプログラムを活動の柱として取り組んできた団体としてはとてもうれしい受賞でした。歴代のメンバーと活動を一緒に行ってきた皆様の力です。

試行錯誤も続いています。今年度はそのConservation Corpsプログラムに参加者を得ることができず、年1回の開催となってしまいました。次年度に向けてはよりプログラムの意義や魅力をわかりやすく伝えていけるように工夫をしながらたくさんの若者と共に活動できるように改善をしていきたいと思えます。

今後とも若者たちと共に、人の暮らしが豊かになる環境づくりを進めていき、より良い地域社会づくりに貢献していきたいとおもいます。引き続きのご支援よろしくお願いたします。

数値でみる2016年の活動成果

延べ参加者数

1,896人

年間活動日数

216日

森林整備面積

7.5ha

賞をいただきました

**オーライ！ニッポン大賞
グランプリ受賞！**

苗木forいわき 植林本数

16,000本

竹林整備面積

3ha

活動フィールド一覧



竹林整備(茂木町竹原)

2012年から市貝町ふじ山を保存する会（旧 かぐや姫 なごみの里 竹原）のグループの活動に参加し、竹林整備を行ってきた。写真スポットともなっている坪湊の滝周辺を主に整備する。竹林を残していきたい意向に沿って、継続的な整備を行う。昨年度は、林野庁の森林山村多面的機能発揮対策交付金の補助事業、株式会社かんぼ生命のフィランソロピーバンクからの寄付金を元に整備を行った。



希望の丘(市貝町続谷)

廃校となってしまった旧小貝中央小学校の裏山の森の整備を、子どもたちが遊べる場所にする目的で2015年から行う。2年目の今年は、整備の管理のほか、ホンダトレーディング株式会社さまやNTT東日本株式会社さまなどの企業ボランティアの方にも参加いただいた。子どもたちも森であそぶことを楽しみにしているようで、2017年は町の予算で作業を行うことになった。



創造の森(宇都宮市下栗)

宇都宮市の風と緑の認定こども園の管理する4000㎡の森林を園児が遊べる場所にするために管理しており、団体を設立した2009年から継続的に整備管理を行っている。秋には毎年恒例の「森の人と遊ぶイベント」では、葉っぱや木で遊ぶイベントでにぎわう。今年は卒業した園児が、益子町の美里学園の森のイベントに遊びに来てくれるなど、創造の森で遊ぶだけでなく、自然体験の意義が広がったつながりができている。



美里学園の森(益子町大沢)

2015年からはじまった美里学園の森の整備では、障がいのある利用者さんたちを中心に憩える場となっている。今年も、東京海上日動火災保険株式会社さまとの協働プロジェクト「Green Gift」プロジェクトに取り組み、4、5、7月の3回、215人の親子と社員が集い、森に入る楽しみと森の整備の大切さを体感していただいた。また、9～10月には施設の入り口にあるエリアに施設間を安全に歩けるような遊歩道の整備もおこなった。



サシバの里 ふじ山(市貝町刈生田)

2016年から市貝町ふじ山を保存する会（旧 かぐや姫 なごみの里 竹原）のグループに協力し、ふじ山の整備を行う。とくに左の写真の場所は篠竹で覆われてしまった元田んぼを草刈りし、水車やどろんこ沼を整備。9月には人が入れるようになり、「お披露目完成会イベント」をおこない200人ほどが訪れた。



サシバの里 里山(市貝町刈生田)

今年のはじめて整備をおこなったこの里山は、3haの広葉樹と針葉樹が混ざった森林だ。市貝町ふじ山を保存する会（旧 かぐや姫 なごみの里 竹原）のグループと共にこない、篠竹伐採と細い木や枯れた木を除伐した。多くの日帰りボランティアの方にも協力いただき、草刈や切った後の片づけを手伝っていただいた。2017年度も継続して整備を行う予定。



主幹事業のご報告

3ヶ月間 森林保全活動を行うConservation Corps プログラムは
森の整備活動を通して、若者のリーダーシップも育んでいます

9:00~16:00 笑顔
 リーダー 子どもが遊ぶ場所
 里山整備 いっしょに食べる
 涙 竹林リーダーシップ
 日本人 刈払い機 地域 汗
 共同生活 アジア 自然体験イベント
 国際交流 企画運営
 チェーンソー

2016年度は5月2日～7月30日までの3ヶ月間、日本とインドの5人が環境保全活動に取り組みました。大学を休学している人から、NPOで働いている人まで様々なバックグラウンドをもつ人がそろった。

メンバーの中には「Stop Climate Change」という地球温暖化防止のためにアクションする2名も一緒に参加し、自分たちの保全活動の場所の二酸化炭素量の計測を試みたり、自分たちの生活の二酸化炭素排出量を計算したりというプロジェクトもありました。

Conservation Corps プログラム 第1～16期生までのデータ



2009年10月に第1期は5人で、創造の森の整備からはじまりました。その後、NPO就職や栃木県を含める地域に移住したのは23人です。直接林業や環境の仕事に携わらなくても、3ヶ月間のプログラムを通じて現場で、地域で学んだことはその人の価値観や生き方、目指す方向性に大きな影響を与えていると実感をしています。多くのメンバーがまた活動に来てくれることもあり、家族のようなつながりができています。

初めての人も多いのでプロに比べると時間はかかります。作業開始の1年目は人が入れるように全体を整備し、その後は草刈や道の補修などの管理を行っています。いままでに、益子町、茂木町、市貝町、宇都宮市、那須烏山市、高根沢町の9ヶ所の場所を目的に合わせて整備してきました。現在は、6ヶ所を継続管理するほか、新しい森の整備もはじまっています。



2009年から2016までのConservation Corpsプログラムの16回の合計の活動日数は1,063日です。通算すると3年間という数字になります。雨の日も暑い日も森にいき、栃木県の森をきれいにするメンバーたちがいてこそ、いまの私たちがあります。

* そのほか、週末ボランティアも受け入れています。
この数字はあくまでも3ヶ月間のボランティアプログラムの日数です。



△71人のサンタが集まりました！

12月24日には、「子どもの貧困撃退ラン サンタdeラン」にも参加し、196,448円の寄付をいただくことができました。頂いた寄付は、「子どもの里山」の整備とイベント運営に使わせていただきます。全体の寄付額は2,347,501円。参加者はサンタクロースになり目立ちながら、子どもの貧困のことを伝えました。「最初は恥ずかしかったけど、楽しかった！」、「少しでも子どものためになれば」という声があがりました。

若者の声 - 自分と向き合う3ヶ月間

3ヶ月来ていたボランティアの感想をご紹介します。

期間中はほぼ毎日森にでかけ、日々変わりゆく初夏の自然を体感したり、恐る恐る使っていた、のこぎりや鉋の道具が少しずつ使えるようになったり、とてもうれしかった。また、共同生活をしているメンバーたちだけではなく、地域の方々や森林ボランティアを長くやっておられるグループの方々、様々なNPOや団体の方と実際にあって話したり、一緒に活動をしたりすることで多くのことを学びんだ。今後も主体的にこのような自然に関するボランティアに参加していけたらと思う。

(M・Sさん 栃木県出身)

来る前は仕事に疲れてしまい、なんとなく日々を過ごしていた。ここにきてから、劇的に変わりました。スタッフ・メンバーとのコミュニケーションや、日々のワークを通じて、自分らしさとよく生きることを取り戻すことができました。物事に真摯に取り組めたことは、とても充実感を得ることにつながったし、自己肯定感も増した。また、ボランティアに対して、強い抵抗感のようなものを今まで持っていたけれど、何より自分がボランティアを楽しめたし、それで何か少しでも役に立てたと思えるので、とても有意義だった。

(A・Kさん 青森県出身)

子どもの里山をひろげよう！

自然の中で遊んだ経験ができる子どもが減っています。これまで遊べる森を増やし、少しでもたくさん子どもたちに森で遊ぶ楽しさやおもしろさを体感してもらおうとしてきました。

しかし、家庭の事情でなかなか外に遊びにいけない子どもたちがいることもわかってきました。

そこで、わたしたちが整備している里山を活用して自然体験の機会ができるように体験イベントの企画運営も行っています。夏休みや冬休みなどには、1泊2日のキャンプも行いました。

共催 昭和子ども食堂
(栃木県若年者支援機構)

東京海上日動の「Green Gift」プロジェクトで215人が森に！



東京海上日動の環境保護活動「Green Gift」プロジェクト*を益子町の美里学園の森を利用して行いました。4、5、7月の3回にわたり、各回70人ほどの親子、社員ボランティアの方にお越しいただき、午前中は森の整備体験(草刈りや道づくり)を行い、お昼はピザ焼きや流しそうめん、ジャンベのコンサートで盛り上がりました。

3回参加してくれた子の中には、「今日は道を完成させるぞ！」とがんばってくれている子もいて、森にたくさん笑顔があふれた時間でした。

共催 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
協力 関東環境パートナーシップオフィス
協賛 東京海上日動火災保険株式会社
後援 環境省

社会福祉法人益子のぞみの里福祉会 美里学園

*「Green Gift」プロジェクトとは、東京海上日動が、紙資源使用量削減額の一部でNPO等と協働で環境保護活動を行うプロジェクト

▼ 森ボラ団体をもっと広める！若者が森に来やすい仕組みをつくるために



▲3月に名草里山の会にみんなで訪問しました

県内で活動している森林ボランティア団体の中には、若い人がいない、後継者がいないという心配を抱えています。若者ボランティアを、「高齢化」「後継者不足」に悩む団体に繋ぐことにより、栃木県の環境保全ボランティアを継続発展させることを目指しています。平成27年度から地球環境基金の助成を受けて実施しています。今年度は、若者向けのチェーンソー&リーダーシップ講座を4回実施し、28人が参加しました。また、団体向けの、若者と上手に活動するための講座を3回の研修で7団体、若者のグループ向け研修も2回実施しました。28年度には、元気な若者による森づくりグループも誕生しました。より多くの若者と団体がつながる機会を作れるように継続していきます。

▼ 那珂川の保全を目的とし、周辺地域の里山、竹林の整備のボランティア活動を推進する



▲始める前に安全な作業の説明を行います

今年も継続してフィナンソロピーバンクを通じて、株式会社かんぼ生命さまからの寄付のご支援をいただき、竹林整備を実施することができました。整備活動39回、288人の方にご協力いただき、竹の間伐、玉切りなどの処理作業を行い、竹林に入れるようになりました。

また、那珂川・里山散策学習プログラムでは、子ども支援団体の自然体験活動の機会になり、県内における活動に対する認知も少しずつ高まってきました。とちぎYMCAさまやとちぎ青少年センターさまからも集まり、38人の方に里山の大切さを伝える機会をつくることができました。

▼ 苗木 for いわきプロジェクト いわき市の海岸林でクロマツがすくすく育っています



▲2012年に植えたクロマツは2mほどに

今年度から「苗木forいわき」プロジェクトがより地元生根差した活動になるように、プロジェクトの事務局をフクシマ環境未来基地に移管しました。ですが、トチギ環境未来基地も引き続きメンバーの一員として、現場での活動、寄付の呼びかけ、クロマツパートナーの皆さんとの活動などを行っています。現場での活動では、延べ1,238人のボランティアの皆さんと活動を行いました。プロジェクト開始から5年を迎え、初年度に植えたクロマツも大きく成長するなど、海岸林再生の手ごたえを感じています。

SPECIAL THANKS

活動一覧（敬称略・開催日時順）

例年に続き、森林活動を社会貢献活動や研修の場に活かしてたくさんのグループの方が森の活動に来てくださっています。また、森からのものを活かして、工作や出展なども行っています。

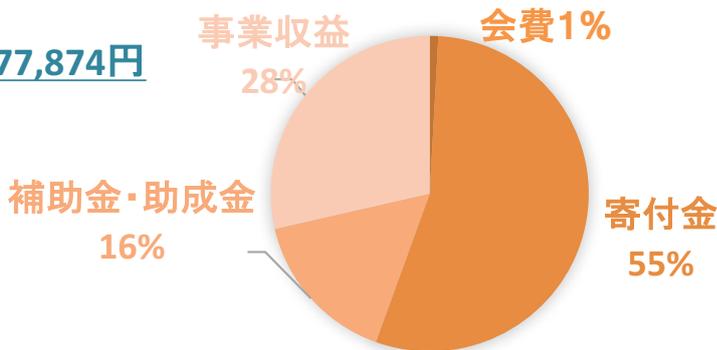
* 緑字は森での活動、オレンジ字は出張・出展

- ▼東京海上日動火災保険株式会社協賛
「Green Gift」プロジェクト」4月16日、5月14日、7月30日 総計215名
- ▼株式会社三井住友銀行
新人研修 5月13日 30名
- ▼栃木県若年者支援機構 集中訓練
6月6日～10日、10月3日～7日 +各回3日日帰り活動
- ▼とちぎ青少年自立援助センター 集中訓練/寮生受け入れ
6月27日～7月1日 12月19日～23日
- ▼とちぎ学生未来創造会議 とちぎ未来留学受入 10月8日 5名
- ▼NTT東日本株式会社 社員ボランティア(11月10～12日) 24名
- ▼ホンダトレーディング株式会社
社員ボランティア11月23日～25日 3名
1週間新人研修 2月13日～17日 8名
- ▼愛知県立大学 国際ボランティアサークル Ruff
3月12日～18日 8名
- ▼NPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)
- ▼市貝町ふじやまを保存する会
- ▼森林・竹林・里山を整備する仲間の会
- ▼とちぎYMCA 弓矢づくり 8月1日 46名
- ▼NPO法人野うさぎくらぶ 竹の工作 8月9日 30名
- ▼富士通株式会社 小山工場
小山ふれあいフェスタ出展 釣りとキーホルダー10月15日
- ▼とちぎ青少年センター 竹切りと工作 10月23日 38名

収支報告

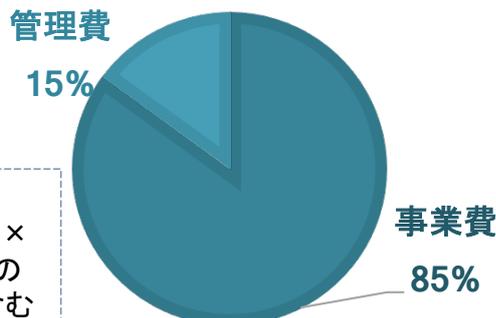
収益

18,277,874円



支出

18,247,064円



* ボランティア評価益
(ボランティアの活動時間×
栃木県最低賃金733円)の
6,948,840円を寄付金を含む

第14回オーライ！ニッポン大賞グランプリをいただきました



都市と農産漁村をつなぐ活動を選んで表彰いただくもので、農林水産省が主催しておこなっているものです。長期間活動することでの地域活性や交流を評価していただきました。ありがとうございました！

メディア掲載・出演

新聞

- ・サシバの里 秋祭り (9月25日 下野新聞)
- ・上松山小学校 苗木forいわき協力 (10月21日 下野新聞/とちぎテレビ)
- ・子どもの貧困撃退ラン サンタdeラン開催！ (12月6日 下野新聞)
- ・「若者定住策のモデル」日本一 (3月4日 下野新聞)
- ・若者の就労後押し 県内2団体に助成 (3月15日 下野新聞)
- ・流しそうめんギネス記録にチャレンジ！ (4月23日 NHK宇都宮放送局)

ラジオ

- ・エコラジ 出演(10月4回 レディオベリー)

Web/雑誌等

- ・森につながり、森からはじまる地域の未来 (11月13日 無印良品 ローカルジャパン)
- ・山の自然学クラブ 寄稿(11月)
- ・しもつけの心
- ・H27年度森林づくり活動についての実態調査 (3月 森づくりフォーラム)

特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地
平成28年度 事業報告書

平成29年5月31日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也

連絡先

特定非営利活動法人トチギ環境未来基地
〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢2584-1

TEL/FAX 0285-81-5373

E-mail tochigi@conservation-corps.jp

URL <http://www.tochigi-cc.org>

Facebook <https://www.facebook.com/TochigiCC>

Twitter @tcc20090612